

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公表番号】特表2002-527170(P2002-527170A)

【公表日】平成14年8月27日 (2002.8.27)

【出願番号】特願2000-576302(P2000-576302)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

B 2 9 C 39/02 (2006.01)

C 0 8 G 77/24 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

B 2 9 K 83/00 (2006.01)

B 2 9 L 11/00 (2006.01)

C 0 8 L 83/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 L 27/00 D

A 6 1 F 2/16

B 2 9 C 39/02

C 0 8 G 77/24

C 0 8 J 5/00 C F H

G 0 2 B 1/04

G 0 2 C 7/04

A 6 1 F 9/00 5 9 0

B 2 9 K 83:00

B 2 9 L 11:00

C 0 8 L 83:08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月19日 (2010.3.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1. 0 より大きい比重および 1. 3 8 ~ 1. 6 0 の間の屈折率を有する白内障の治療のためのポリシロキサンであって、4 ~ 6 5 モル%のトリフルオロプロピルメチルシロキサンモノマー単位、1 ~ 5 0 モル%のジフェニルシロキサンモノマー単位及びジメチルシロキサンモノマー単位を含むターポリマーである前記ポリシロキサン。

【請求項 2】 1. 0 3 ~ 1. 2 0 の範囲内の比重および 1. 3 8 より高い屈折率を有する請求項 1 に記載のポリシロキサン。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載のポリシロキサンと架橋剤と触媒とを含む白内障の治療のための注入可能なレンズ材料。

【請求項 4】 白内障の治療のための眼内レンズの製造のための、架橋剤と、触媒と、1. 0 より大きい比重および 1. 3 8 ~ 1. 6 0 の間の屈折率を有するポリシロキサン

であって、前記ポリシロキサンは4～65モル%のトリフルオロプロピルメチルシロキサンモノマー単位、1～50モル%のジフェニルシロキサンモノマー単位及びジメチルシロキサンモノマー単位を含むターポリマーである前記ポリシロキサンとの使用。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

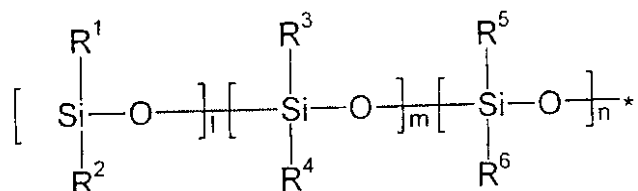
【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

【化1】



(式中、 R_1 および R_2 は独立して $C_1 \sim C_6$ アルキルであり、 R_3 はフェニルであり、 R_4 はフェニルまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルであり、 R_5 は $CF_3(CH_2)_x$ であり、ここで x は1～5であり、 R_6 は $C_1 \sim C_6$ アルキルまたはフルオロアルキルであり、 l は0～0.95のモル分率範囲内であり、 m は0～0.7のモル分率範囲内であり、 n は0～0.65のモル分率範囲内である)

を有するビニル末端ターポリマーである。独立してまたは組合せのいずれかで、 R_1 がメチルであり、 R_2 がメチルであり、 R_4 がフェニルであり、 x が2であることが好ましい。好ましくは、これらの選択肢によると R_6 はメチルである。一つの実施形態によると、ポリシロキサンは、ジフェニルまたはフェニルアルキルシロキサンとジアルキルシロキサンのコポリマーである。別の実施形態によると、ポリシロキサンは、ジフェニルまたはフェニルアルキルシロキサンとトリフルオロアルキル(アルキル)シロキサンのコポリマー、あるいはジフェニルおよび/またはフェニルアルキルシロキサン、ジアルキルシロキサンおよびトリフルオロアルキルアルキルシロキサンのターポリマー以上のポリマーである。特定の好ましい実施形態によると、ポリシロキサンは、ジメチルシロキサン、ジフェニルシロキサンまたはフェニルメチルシロキサンおよび3,3,3-トリフルオロプロピルメチルシロキサンのターポリマーである。好ましくは、前記ポリシロキサンは、トリフルオロプロピルメチルシロキサン少なくとも約4モル%とジフェニルシロキサンおよび/またはフェニルメチルシロキサン1～50モル%とを含む。より好ましくは、前記ポリシロキサンは、3,3,3-トリフルオロプロピルメチルシロキサンモノマー単位約4～65モル%とジフェニルシロキサンモノマー単位1～50モル%とジメチルシロキサンモノマー単位とを含む。IOLの形成のために人の眼の包膜に注入するための組成物の一部である一つの適するポリシロキサン組成物は、トリフルオロプロピルメチルシロキサンモノマー単位約28モル%と、ジフェニルシロキサンモノマー単位約4モルと、ジメチルシロキサンモノマー単位とを含む。